

科目名	国語表現		単位数	4単位	学年	3年	コース	進学文系	必修	
教科書	国語表現(大修館書店)									
副教材・参考書	国語辞典・トータルサポート新国語便覧・国語表現 基礎練習ノート・大学入試国語頻出問題1200 四訂版・ちくま文学講読上級編・新版大学入学共通テスト実践演習論理・文学編									
授業の到達目標	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、論理的思考力や共感する力、想像力を伸ばし、伝え合う力を高めるとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって読書に親しむ態度を育み、言葉を通して他者や社会に積極的に関わる態度を持つ。									
授業内容 ・進め方	言葉や文章の正しい使い方、原稿用紙の書き方などの基本的な修辭技法や表現技法を、教科書や副教材を用いて学び、適宜実践していく。志望理由書、小論文等の書き方、面接の際の言葉遣いなどについて演習を行う。基礎力を測る小テスト、共通テスト対策も行う。									
観点別評価の方法	【知識・技能】 定期考査・小テスト等									
	【思考・判断・表現】 定期考査・発表の内容と過程・レポート・小論文等									
	【主体的に学びに向かう態度】 振り返り・相互評価・行動観察等									
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 =5:4:1を原則とする									
授業スケジュール										
(1学期)	4月	/	【話す・聞く力】自己紹介・他己紹介・聞く力をつける・身振り手振り・スムーズな会話							
			【情報活用力】ニュース、話題について調べ、まとめる・発表する							
			【言語運用力】言葉の基礎・表現のコツをつかむ							
	5月	考査実施	【評論・随想】「ニワンドリの庭」(加藤幸子)／「ささやかな時計の死」(村上春樹)							
			【話す・聞く力】自己分析・他己分析をして自分史を作る・人前で話す							
	6月	/	【情報活用力】ニュース、話題について調べ、まとめる・スピーチする							
			【書く力】書いて説明する・書いてアピールする・論理的に正しく書く							
			【評論・随想】「知識の扉」(港千尋)／「文学のふるさと」(坂口安吾)							
	7月	考査実施	【話す・聞く力】自己PRを作る・話し合いをする							
	(2学期)	9月	/	【情報活用力】ニュース、話題について調べ、まとめる・ディスカッションする						
				【書く力】読む側を意識して小論文を書く・分析する						
				【詩歌】永訣の朝(宮沢賢治)・旅情(石垣りん)・死にたまふ母(斎藤茂吉)・俳句						
10月		考査実施	共通テスト演習							
			【言語運用力】模擬面接・敬語と言葉遣い・語彙を豊かにする							
11月		/	【情報活用力】ニュース、話題について調べ、まとめる・議論する							
			【書く力】小論文演習							
			【小説】「オデュッセイア」(恩田陸)							
12月		考査実施	共通テスト演習							
(3学期)		1月	/							
		2月	/							
3月	考査不実施									

科目名	古典	単位数	3単位	学年	3年	コース	進学文系	必修
教科書	精選 古典探究(大修館書店)							
副教材・参考書	古語辞典・精選古典探究学習ノート・トータルサポート新国語便覧・完全マスター古典文法改訂三訂版・わかる・読める・解けるKey&Point古文単語330三訂版・基礎から解釈へ漢文必携五訂版・漢文必携チェックノート基本編五訂版・大学入試国語類出問題1200四訂版・新版大学入学共通テスト実践演習古文・漢文編							
授業の到達目標	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。							
授業内容・進め方	古典の読解を中心に辞書や副教材を活用し、古典文法・漢文句法・文学史・古典の基礎知識などを関連付け、各教材を味わいながらも、大学受験に対応できる力をつけていく。							
観点別評価の方法	【知識・技能】定期考査・小テスト等、パフォーマンス等(発表等の態度・内容・過程、論述の成果物)							
	【思考・判断・表現】定期考査等、パフォーマンス等(発表等の態度・内容・過程、論述の成果物)							
	【主体的に学びに向かう態度】振り返り(自己評価・他己評価)、行動観察							
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 =5 :4 :1 を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月		古文:日記『更級日記』『門出』					
	5月	考査実施	漢文:漢詩『唐詩選』『登岳陽楼』『子夜呉歌』					
	6月		古文:物語『堤中納言物語』『虫めづる姫君』					
	7月	考査実施						
(2学期)	9月		古文:物語『源氏物語』『葵の上と物の怪』					
	10月	考査実施						
	11月		漢文:史伝『史記』『荊軻』(一)(二)					
	12月	考査実施						
(3学期)	1月							
	2月							
	3月							

科目名	地理研究		単位数	4単位	学年	3年	コース	進学文系	選択
教科書	『地理探究』 二宮書店								
副教材・参考書	『高等地図帳』・『地理探究ワークブック』								
授業の到達目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。								
授業内容・進め方	地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解する。地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。								
観点別評価の方法	【知識・技能】		定期考査・小テスト等による評価						
	【思考・判断・表現】		定期考査・小テスト・パフォーマンス課題等による評価						
	【主体的に学びに向かう態度】		パフォーマンス課題・振り返り等による評価						
観点別評価の割合	知識・技能：思考・判断・表現：主体的に学びに向かう態度＝5:3:2を原則とする								
授業スケジュール									
(1学期)	4月		第Ⅱ編 現代世界の地誌的考察 第1章 地域区分 ①現代世界の地域区分 第2章 現代世界の諸地域 ①中国						
	5月	考査実施	②朝鮮半島 ③東南アジア						
	6月		④南アジア ⑤西アジア・中央アジア						
	7月	考査実施	⑥北アフリカ・サブサハラアフリカ						
(2学期)	9月		⑦ヨーロッパ ⑧ロシア						
	10月	考査実施	⑨アングロアメリカ ⑩ラテンアメリカ						
	11月		⑪オーストラリア ⑫ニュージーランドと島嶼国						
	12月	考査実施	第Ⅲ編 現代世界におけるこれからの日本の国土像 ①現代日本に求められる国土像						
(3学期)	1月								
	2月								
	3月	考査不実施							

科目名	日本史研究		単位数	4単位	学年	3年	コース	進学文系	選択
教科書	『詳説 日本史』(山川出版社)								
副教材・参考書	『詳説日本史図録』・『一問一答日本史』・『要点整理ゼミナール日本史』等								
授業の到達目標	1.日本史の学習を通して、国際社会に生きる市民として目国への理解を深め、将来に生かすことができる力を養う。 2.単なる知識量だけではなく、思考力・分析力等の育成を目指し、論述力も高め、大学入試に向けた実践力を養う。								
授業内容・進め方	教科書の内容をふまえたうえで、歴史的思考力を高めながら自ら判断する機会を取り入れた講義形態やグループワーク等で実施。 適宜、副教材や視覚教材等を使用し、プリント作業・小テスト・演習等を行う。								
観点別評価の方法	【知識・技能】		定期考査・小テスト等による評価						
	【思考・判断・表現】		定期考査・小テスト・パフォーマンス課題等による評価						
	【主体的に学びに向かう態度】		パフォーマンス課題・振り返り等による評価						
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 5 : 3 : 2を原則とする								
授業スケジュール									
(1学期)	4月	/	第IV部 近代・現代						
			第11章 近世から近代へ 2 幕末の滅亡と新政府の発足						
	5月	考査実施	第12章 近代国家の成立 1 明治維新と富国強兵 2 立憲国家の成立						
			第13章 近代国家の展開 1 日清・日露戦争と国際関係 / 2 第一次世界大戦と日本 3 ワシントン体制						
	6月	/	第14章 近代の産業と生活 1 近代産業の発展 / 2 近代文化の発達 / 3 市民生活の変容と大衆文化						
			第15章 恐慌と第二次世界大戦 1 恐慌の時代 / 2 軍部の台頭 / 3 第二次世界大戦						
	7月	考査実施	第16章 占領下の日本 1 占領と改革 / 2 冷戦の開始と講和						
第17章 高度成長の時代 1 55年体制 / 2 経済復興から高度経済成長へ									
(2学期)	9月	/	第18章 激動する世界と日本 1 経済大国への道 / 2 冷戦の終結と日本社会の変容						
			入試問題演習(共通テスト対策も含む)						
	10月	考査実施	入試問題演習(共通テスト対策も含む)						
			入試問題演習(共通テスト対策も含む)						
	11月	/							
12月	考査実施								
(3学期)	1月	/							
	2月	/							
3月	/								

科目名	世界史研究	単位数	4単位	学年	3年	コース	進学文系	選択
教科書	『詳説 世界史』(山川出版社)							
副教材・参考書	『山川 一問一答』・『世界史・NEW・STAGE世界史詳覧』・『要点整理ゼミナール世界史』等							
授業の到達目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。							
授業内容・進め方	世界史探究の内容を土台に、さらに世界史に関する知識を深める。復習や実践問題を通して、生徒自身が新たな発見をするように「学習→関連付け→更なる知識の獲得」となるよう、世界史の内容を幅広く取り扱う。							
観点別評価の方法	【知識・技能】 地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、調べまとめる技能を身に付けるように							
	【思考・判断・表現】 多面的・多角的に考察したり、効果的に説明したり、議論したりする力を養う。							
	【主体的に学びに向かう態度】 他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める							
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 5:3:2を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月		第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成					
	5月	考查実施	第14章 アジア諸地域の動揺					
	6月		第15章 帝国主義とアジアの民族運動					
	7月	考查実施						
(2学期)	9月		第16章 第一次世界大戦と世界の変容					
	10月	考查実施	第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成					
	11月		第18章 冷戦と第三世界の台頭					
	12月	考查実施	第19章 冷戦の終結と今日の世界					
(3学期)	1月							
	2月							
	3月							

科目名	政治経済	単位数	3単位	学年	3年	コース	進学文系	必修	
教科書	『政治・経済』(東京書籍)								
副教材・参考書	『新政治・経済資料』・『要点マスター 政治・経済演習ノート』								
授業の到達目標	(1) 社会の在り方に関わる諸課題の解決に向け、情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。 (2) グローバルな見地から、公正な判断による合意形成や社会参画に向かう力を養う。 (3) 日本および国際社会において国家および社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚を								
授業内容・進め方	教科書・ノートを基本とし、プリントを適宜使用する。調べ学習・グループ学習・発表・レポート提出などを行う。 授業内容・進め方については、生徒の実情に合わせ必要に応じて変更する必要がある。								
観点別評価の方法	【知識・技能】		定期考査・小テスト等による評価						
	【思考・判断・表現】		定期考査・小テスト・パフォーマンス課題等による評価						
	【主体的に学びに向かう態度】		パフォーマンス課題・振り返り等による評価						
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 5 : 3 : 2 を原則とする								
授業スケジュール									
(1学期)	4月	/	現代日本の政治(民主政治)						
			民主政治の基本原則(各国の政治制度)						
	5月	考査実施	日本国憲法(基本原則～平和主義)						
			日本国憲法(国会～内閣)						
	6月	/	日本国憲法(裁判所～地方自治)						
	7月	考査実施	現代の国際政治と環境問題						
(2学期)	9月	/	資本主義経済の成立						
			現代の資本主義経済(市場経済と国民所得)						
	10月	考査実施	現代の資本主義経済(金融～財政)						
			日本経済の発展(戦後の経済復興～バブル崩壊)						
	11月	/	日本経済の発展(金融不安～日本経済の課題)						
			国際経済(世界貿易)						
	12月	考査実施	現代の国際経済(発展途上国と今後の課題)						
(3学期)	1月	/							
	2月	/							
	3月								

科目名	倫理		単位数	2単位	学年	3年	コース	進学文系	選択
教科書	詳述倫理(実教出版)								
副教材・参考書	『テオリア最新倫理資料集 新版初訂』								
授業の到達目標	青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解を深めさせる。そして人格の形成に努める実践的意欲を高めるとともに、思考力を養い、他者と共に生きる主体としての自己の確立を促す。								
授業内容・進め方	思想や宗教に関する基本的事項の理解を、講義やグループ演習等を通じて深めていく。思想家の思想については、適宜図で示し、視覚的な理解を促す。								
観点別評価の方法	【知識・技能】定期考査・小テスト等による評価								
	【思考・判断・表現】定期考査・小テスト・パフォーマンス課題等による評価								
	【主体的に学びに向かう態度】パフォーマンス課題・振り返り課題による評価								
観点別評価の割合	知識・技能：思考・判断・表現：主体的に学びに向かう態度＝5:3:2を原則とする								
授業スケジュール									
(1学期)	4月	/	第1章 自己形成と自己の生き方 / 第1節 青年期の課題と自己形成						
			第2節 人間とは何か / 第2章 人間としてのあり方生き方						
			第1節 ギリシア思想						
	5月	考査実施	第2節 キリスト教 / 第3節 イスラーム						
			第4節 仏教 / 第5節 中国思想 / 第6節 芸術と人生						
			第3章 社会・世界と人間としてのあり方生き方						
	6月	/	第1節 人間の尊厳						
			第2節 科学・技術と人間						
			第3節 民主社会と自由の実現 / 第4節 社会と個人						
	7月	考査実施	第5節 近代的人間の見直し						
			第6節 現代の暴力に抗して						
	(2学期)	9月	/	第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚					
第1節 古代日本人の思想									
第2節 日本の仏教思想									
10月		考査実施	第3節 近世日本の思想 / 第4節 西洋思想の受容と展開						
			第5章 自然や科学技術にかかわる諸課題と倫理						
			第1節 生命の倫理 / 第2節 環境の倫理						
11月		/	第3節 科学技術の倫理						
			第6章 社会と文化にかかわる諸課題と倫理						
			第1節 福祉の課題						
12月		考査実施	第2節 文化と宗教の課題						
			第3節 平和の課題						
(3学期)		1月	/						
2月	/								
3月	/								

科目名	時事教養	単位数	2単位	学年	3年	コース	進学文系	選択
教科書	なし							
副教材・参考書	担当者によるオリジナル教材							
授業の到達目標	地球規模の視点で動き、世界各国のネットワークを活用しながらも、日本人としてのアイデンティティを備え、活動の拠点となるローカルな足場と未来への持続性を考えることのできる「グローバル・リーダー」を育成する。 1.国際社会に生きる市民として自国・地元への理解を深め、将来に活かすことができる力を養う。 2.知識だけではなく、思考力・分析力等の育成を目指し、英文も含めた論述力等の表現力も高める。							
授業内容 ・ 進め方	上記の到達目標を実現するにあたり、他者と協働しながら多様な観点における思考力を高め、自ら判断する機会を取り入れた講義形態やグループワーク、フィールドワーク等で実施。 適宜、プリント作業・小テスト・リフレクション等を行う。							
観点別評価の方法	【知識・技能】		小テスト・パフォーマンス課題等による評価					
	【思考・判断・表現】		小テスト・パフォーマンス課題等による評価					
	【主体的に学びに向かう態度】		パフォーマンス課題・振り返り等による評価					
観点別評価の割合	知識・技能：思考・判断・表現：主体的に学びに向かう態度＝3：4：3を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月	/	ガイダンス					
			日本人の倫理観（地歴公民科）					
			日本人の宗教観（地歴公民科）					
	5月	調査不実施	日本文化の魅力（地歴公民科）					
			地元の魅力を語ろう！！①（地歴公民科）					
			地元の魅力を語ろう！！②（地歴公民科）					
	6月	/	プレゼンテーションの技法① 課題設定のために（国語科）					
			プレゼンテーションの技法② 相手に伝わる話し方（国語科）					
(Dictationを用いて)洋楽を聞いてみよう①（英語科）								
7月	調査不実施	英字新聞を読み、自らの考えを英語で書き、発表①（英語科）						
(2学期)	9月	/	観光ガイドをつくろう！！①（地歴公民科）					
			観光ガイドをつくろう！！②（地歴公民科）					
			観光ガイドをつくろう！！③（地歴公民科）					
	10月	調査不実施	ディベートの技法① 社会的課題に目を向ける（国語科）					
			ディベートの技法② 協働して論を作成する（国語科）					
			ディベートの技法③ 異なる立場の相手を説得する（国語科）					
	11月	/	(Dictationを用いて)洋楽を聞いてみよう②（英語科）					
			英字新聞を読み、自らの考えを英語で書き、発表②（英語科）					
12月	調査不実施	英字新聞を読み、自らの考えを英語で書き、発表③（英語科）						
(3学期)	1月	/						
	2月	/						
	3月							

科目名	数学研究		単位数	2単位	学年	3年	コース		進学文系		選択	
教科書	日本数学検定協会 実用数学技能検定要点整理準2級											
副教材・参考書												
授業の到達目標	数学技能検定の問題集を用いて、基礎的な入試問題、特に大学入学共通テストの問題に対応できるようにする。発展的な入試問題を理解するための確固たる基礎力を定着させ、これまで学んできた数学の構造的な理解の構築をする。数学技能検定の参考書を活用し、準2級に合格することも本授業の目標の1つとする。											
授業内容・進め方	数学 I Aの基礎的な入試問題に関して、演習時間を十分に確保し、様々な観点から問題にアプローチする。また、大学入学共通テストの実践的な演習などにも取り組む。											
観点別評価の方法	【知識・技能】 定期テスト 基本的課題											
	【思考・判断・表現】 定期テスト											
	【主体的に学びに向かう態度】 定期テスト 発展的な課題 授業・テストの振り返り 小テスト											
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 5 : 3 : 2 を原則とする											
授業スケジュール												
(1学期)	4月		数と式									
	5月	考查実施	2次関数									
	6月		場合の数・確率									
	7月	考查実施	図形と計量									
(2学期)	9月		図形の性質									
	10月	考查実施	数学検定特有問題対策									
	11月		大学入学共通テスト対策及び一般入試対策									
	12月	考查実施	大学入学共通テスト対策及び一般入試対策									
(3学期)	1月											
	2月											
	3月											

科目名	体育(男子)	単位数	3単位	学年	3年	コース		進学		必修		
教科書	新高等保健体育(大修館書店)											
副教材・参考書												
授業の到達目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成する。											
授業内容・進め方	生涯を通じて運動を生活の中に取り入れ、公正、協力、責任をもって実践できるように展開する。各単元の特性を生かし、知識・技能を高めるとともに作戦に応じたプレーを心がけることで思考力・判断力の向上、安全に留意しながら実施する態度の育成をはかる。自己の能力に応じて体力の向上に努める。											
観点別評価の方法	【知識・技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解できているか。											
	【思考・判断・表現】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力が養われているか。											
	【主体的に学びに向かう態度】 生涯にわたり継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度が養われているか。											
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 4 : 3 : 3 を原則とする											
授業スケジュール												
			《体育》男女別習 2単位					《選択体育》男女共習 1単位				
(1学期)	4月	/	体づくり運動					選択①	オリエンテーション			
			新体力テスト						着装・礼法・所作、面・小手・胴			
	5月	考査不実施	バスケットボール パス、シュート 他ルール説明、ゲーム						剣道基本技稽古法(基本1～基本9)			
			ソフトボール キャッチボール、バッティング、ゲーム						面・小手・胴 連続技・体当たり技 連続の打ちこみ 互角稽古 試合			
(2学期)	6月	/	バレーボール パス、サーブ、レシーブ、スパイク、ゲーム					選択②	オリエンテーション 基本姿勢・動作 現代的なリズムのダンス テーマに合わせた動き			
	7月	考査不実施	ソフトテニス スイング、ボールコントロール ゲーム						リズムダンスの創作 グループ分け、リズム、テーマ決め フレーズづくりと構成 グループ発表			
	9月	/	サッカー ボールコントロール、攻防練習、ゲーム						ダンス	オリエンテーション 技の名称や行い方 運動観察の方法 繰り返し系 回転系		
10月	考査不実施	バドミントン ラリー、サーブ、ゲーム					選択③	条件を変えた技 発展技 発表会				
11月	/	サッカー ゲーム						器械運動				
12月	考査不実施											
1月	/											
(3学期)	2月	/										
	3月	/										
								※2クラス程度で合併して授業を展開する。 ※1年間で2種目選択し、1学期ごとに種目を変更する。				

科目名	体育(女子)	単位数	3単位	学年	3年	コース		進学		必修	
教科書	新高等保健体育(大修館書店)										
副教材・参考書											
授業の到達目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成する。										
授業内容・進め方	生涯を通じて運動を生活の中に取り入れ、公正、協力、責任をもって実践できるように展開する。各単元の特性を生かし、知識・技能を高めるとともに作戦に応じたプレーを心がけることで思考力・判断力の向上、安全に留意しながら実施する態度の育成をはかる。自己の能力に応じて体力の向上に努める。										
観点別評価の方法	【知識・技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解できているか。										
	【思考・判断・表現】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力が養われているか。										
	【主体的に学びに向かう態度】 生涯にわたり継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度が養われているか。										
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 4 : 3 : 3 を原則とする										
授業スケジュール											
				《体育》男女別習 2単位				《選択体育》男女共習 1単位			
(1学期)	4月	/	体づくり運動				選択①	オリエンテーション			
			新体力テスト					着装・礼法・所作、面・小手・胴			
	5月	考査不実施	バスケットボール パス、シュート 他ルール説明、ゲーム					剣道基本技稽古法(基本1～基本9)			
			ソフトボール キャッチボール、バッティング、ゲーム					面・小手・胴 連続技・体当たり技 連続の打ちこみ 互角稽古 試合			
(2学期)	6月	/	バレーボール パス、サーブ、レシーブ、スパイク、ゲーム				選択②	オリエンテーション			
	7月	考査不実施	ソフトテニス スイング、ボールコントロール ゲーム					基本姿勢・動作			
			サッカー ボールコントロール、攻防練習、ゲーム					現代的なリズムのダンス テーマに合わせた動き リズムダンスの創作 グループ分け、リズム、テーマ決め フレーズづくりと構成 グループ発表			
9月	/	バドミントン ラリー、サーブ、ゲーム				ダンス	オリエンテーション				
10月	考査不実施	サッカー ボールコントロール、攻防練習、ゲーム					技の名称や行い方 運動観察の方法 切り返し系 回転系				
(3学期)	11月	/	サッカー ゲーム				器械運動	条件を変えた技 発展技 発表会			
	12月	考査不実施									
	1月	/									
(3学期)	2月	/					※2クラス程度で合併して授業を展開する。 ※1年間で2種目選択し、1学期ごとに種目を変更する。				
	3月	/									

科目名	スポーツ研究	単位数	2単位	学年	3年	コース	進学文系	選択
教科書	新高等保健体育(大修館書店)							
副教材・参考書								
授業の到達目標	スポーツに関する深い知識を身に付ける。また、他者と協働し生涯にわたり豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成する。							
授業内容・進め方	トレーニングメニューの作成やケガの防止といった課題に応じて班ごとに探究をし、実践力の向上に努める。							
観点別評価の方法	【知識・技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解できているか。							
	【思考・判断・表現】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力が養われているか。							
	【主体的に学びに向かう態度】 生涯にわたり継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度が養われているか。							
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 4 : 3 : 3 を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月	/	スポーツ研究実施にあたってのオリエンテーション					
			探究テーマの決定					
			探究活動①					
	5月	検査不実施	探究活動②					
			探究活動③					
			中間発表					
	6月	/	探究活動④					
			探究活動⑤					
	7月	検査不実施	スポーツ研究班に向けての授業実施①					
			探究活動⑥					
(2学期)	9月	/	授業実施について					
			探究活動⑦					
			探究活動⑧					
	10月	検査不実施	探究活動⑨					
			2年生スポーツクラスへの授業実施①					
			2年生スポーツクラスへの授業実施②					
	11月	/	授業実施を受けての振り返り					
			探究活動⑩					
			探究活動⑪					
			2年生スポーツクラスへの授業実施③					
12月	検査不実施	2年生スポーツクラスへの授業実施④						
		授業実施を受けての振り返り						
(3学期)	1月	/						
	2月	/						
3月	/							

科目名	音楽 I	単位数	2単位	学年	3年	コース		進学文系		選択	
教科書	MOUSA 1(教育芸術社)										
副教材・参考書	なし										
授業の到達目標	音楽の幅広い活動を通して生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。										
授業内容 ・進め方	実技(歌唱・器楽)・音楽史鑑賞・音楽理論をバランスよく学習する。 外国の作品は原語で歌唱し、その国の歴史、文化、風習等、様々な分野とつながりをもって学習させる。										
観点別評価の方法	【知識・技能】音楽史・楽典・読譜力・発声法・楽器の奏法										
	【思考・判断・表現】知識・技能に裏付けられた豊かな表現										
	【主体的に学びに向かう態度】授業に向かう積極性・協調性・持続性										
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 3 : 3 : 4 を原則とする										
授業スケジュール											
(1学期)	4月	/	発声 校歌								
			イタリア歌曲「Caro mio ben(いとしのわがきみ)」								
			箏の基本奏法								
	5月	<small>考查不実施</small>	イタリアについて(イタリア語・文化・歴史・風土)								
			原語で歌唱								
			箏「さくらさくら」								
	6月	/	イタリア歌曲「Caro mio ben(いとしのわがきみ)」								
実技試験 歌唱「Caro mio ben」(独唱)											
実技試験 器楽・箏「さくらさくら」(独奏)											
7月	<small>考查不実施</small>	音楽史・鑑賞 ルネサンス～バロック									
(2学期)	9月	/	発声								
			日本歌曲 この道								
			ギターの基本奏法								
	10月	<small>考查不実施</small>	混声四部合唱「We are the World」								
			音楽理論								
			ギター「禁じられた遊び」								
	11月	/	音楽理論								
実技試験 歌唱「この道」											
実技試験 器楽・ギター「禁じられら遊び」											
12月	<small>考查不実施</small>	音楽史・鑑賞 古典派～ロマン派～現代									
(3学期)	1月	/									
	2月	/									
3月											

科目名	美術 I	単位数	2単位	学年	3年	コース	進学文系	選択
教科書	高校生の美術1							
副教材・参考書	スケッチブック							
授業の到達目標	作品の制作および鑑賞を通じて、個人個人の感性や様々な思考、創造力を養い、様々な価値観に触れながら自己を深く掘り下げることを目標とする。							
授業内容・進め方	作品制作におけるアイデアや制作方法を探りながら、物の見方や色彩理論の解説および指導を行う。また、生徒個人の能力に応じて指導をし、満足度と完成度を高める。							
観点別評価の方法	【知識・技能】 絵画・立体・デザインにおける技法や理論および知識の習得。							
	【思考・判断・表現】 対象物を的確に捉える観察力、豊かな創造性を生み出すための視点や発想力。							
	【主体的に学びに向かう態度】 制作のみならず準備や片付けなどの積極性や他者を尊重する姿勢。							
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 3 : 3 : 4 を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月	/	ガイダンス					
			レタリング(スケッチブックに各自の氏名を明朝体でレタリング)					
			デッサン(球体を陰影で描く)					
	5月	/	1、鉛筆でのグラデーション表現および陰影表現を用いてのデッサン					
			色彩理論および表現(三原色、三属性、色相環および配色について学ぶ)					
	6月	/	1、三原色カラーを用いての色相環制作					
			水彩表現(透明水彩絵の具を用いての写生)					
7月	/	1、下描き						
		2、透明水彩絵の具を使用したの彩色①						
7月	/	3、振り返り						
		キャラクターについて(キャラクター調べ、オリジナルキャラクターの作成)						
(2学期)	9月	/	絵画制作「静物油彩」					
			(油絵具による静物画の制作。絵具の特性や技法、絵画の歴史について学ぶ)					
			1、下描き(キャンバスや木炭で下描き)					
	10月	/	2、絵の具について(絵の具の材料の違いなどに触れ、油絵具の特徴を理解する)					
			3、下地塗り(揮発油で薄く溶き、発色を高め絵の具の食い付きを高める)					
	11月	/	4、本描き①(主観色、客観色を学びながら、色彩豊かな表現および自己を深く探求する表現を目指す)					
			6、本描き②					
12月	/	7、本描き③						
		8、本描き④						
12月	/	5、振り返り(自己の作品と他者作品を比較しつつ振り返る)						
(3学期)	1月	/						
	2月	/						
	3月	/						

科目名	英語コミュニケーションIII	単位数	4単位	学年	3年	コース	進学	必修
教科書	MY WAY English Communication III 三省堂							
副教材・参考書	MY WAY English Communication III ワークブックStandard /Target 1900 6訂版							
授業の到達目標	教科書の本文を通じて日常的・社会的な話題について必要な情報を整理しながら自らの考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりする力を身に付ける。							
授業内容 ・ 進め方	Unit 1で「聞くこと」と「読むこと」に必要なストラテジーを学び、それに対応した発展学習をUnit 2・3で行う。言語活動を通じて本文の内容や重要表現等の理解に努め、世界の様々な事象について見聞を広める。また、初見問題や『ターゲット1900』を利用した単語テストを行い、大学受験や英検にも対応できる読解力や語彙力の強化を図る。							
観点別評価の方法	【知識・技能】 英語の特徴やきまり(音声・語彙・表現・文法事項)を学び、定期テストや各テストで定着度を評価する。							
	【思考・判断・表現】情報を整理しながら英語でコミュニケーションを図る力を定期考査やリスニングテスト、パフォーマンステストで評価する。							
	【主体的に学びに向かう態度】 授業及び家庭学習での取り組み等を参考に、主体的な学習への取り組みを評価する。							
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 =4:4:2 を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月	/	Unit 1 Strategy for Listening & Reading 1 必要な情報を聞き取る/読み取る					
			Unit 2 Lesson 1 "Priceless" Café, "Priceless" Community					
	5月	考査実施	Unit 1 Strategy for Listening & Reading 2 意味のまとまりごとに理解する					
			Unit 2 Lesson 2 Nihonium - A New Element Born in Japan リスニングテスト①					
	6月	/	Unit 1 Strategy for Listening & Reading 7 話の要点を理解する					
			Unit 2 Lesson 3 Tea in the Desert Climate					
	7月	考査実施	Unit 1 Strategy for Listening & Reading 5 論理の展開を把握する(列挙・例示)					
Unit 2 Lesson 4 The Benefit of Origami(列挙) パフォーマンステスト①/ リスニングテスト②								
(2学期)	9月	/	Unit 2 Lesson 5 The Mysteries of English Spelling(例示)					
			Unit 1 Strategy for Listening & Reading 3 キーワードや内容語から概要を把握する					
	10月	考査実施	Unit 2 Lesson 6 New Discovery in the Nasca Lines					
			Unit 1 Strategy for Listening & Reading 4 視覚情報を利用して聞き取る/読み取る リスニングテスト③					
	11月	/	Unit 1 Strategy for Listening & Reading 6 論理の展開を把握する(原因・結果)					
			Unit 2 Lesson 7 Today's Trash is Tomorrow's Treasure					
	12月	考査実施	Unit 1 Strategy for Listening & Reading 8 話者や筆者の意図を推測する					
Unit 3 Lesson 9 Dog Tax パフォーマンステスト②/ リスニングテスト④								
(3学期)	1月	/						
	2月	/						
	3月							

科目名	論理表現Ⅲ	単位数	3単位	学年	3年	コース	進学	必修	
教科書	Vision Quest English Logic and Expression Ⅲ 啓林館								
副教材・参考書	Vision Quest 論理表現Ⅲサブノート 5-Minute Test プロダクティブ英作文 学習ブック 桐原書店								
授業の到達目標	「論理・表現Ⅱ」の学習内容を踏まえ、「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、発信能力を強化するための発展的な活動を行うとともに、論理構成や展開を工夫して詳しく伝えたり、伝え合ったりすることができる能力を養う。								
授業内容・進め方	教科書では各レッスンのTopicを通し自分の考えをまとめ、発表する機会を持たせながら進めていく。副教材では基本文法の体系化と運用能力の定着を図り、英作文のベースの強化、表現活動につなげるための語彙力の強化を図っていく。								
観点別評価の方法	【知識・技能】 定期考査、単元テスト、フレーズテスト								
	【思考・判断・表現】 定期考査、Writing 課題、パフォーマンステスト								
	【主体的に学びに向かう態度】 定期考査、Writing 課題、ワークブックの活用								
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 4:4:2を原則とする								
授業スケジュール									
(1学期)	4月	/	Lesson 1 Friendship and improvement						
			Lesson 2 Which is better a paper or an electronic dictionary?						
			○プロダクティブ英作文 unit 1~3						
	5月	考査不実施	Lesson 3 Can you change your personality?						
			Lesson 4 How do we make decisions? ○プロダクティブ英作文 unit 4~6						
			Unit Test (Lesson 1~4) / Writing Assignments						
	6月	/	Lesson 5 Online doctor consultations						
			○プロダクティブ英作文 unit 7~9						
			○Performance Test						
	7月	考査実施	○プロダクティブ英作文 unit 10~12						
	(2学期)	9月	/	Lesson 6 Healthy lifestyle					
				Lesson 7 What do you do after school?					
○プロダクティブ英作文 unit 13~15									
10月		考査不実施	Lesson 8 Direct and indirect ways of communication						
			Lesson 9 Should we use social media						
			○プロダクティブ英作文 unit 16~18						
11月		/	Lesson 10 Are you a good user of social media?						
			○プロダクティブ英作文 unit 19~21						
			○Performance Test						
12月		考査実施	○Performance Test						
(3学期)		1月	/						
	2月	/							
3月	考査不実施								

科目名	英会話	単位数	2単位	学年	3年	コース	進学文系	選択
教科書								
副教材・参考書	英語4技能型テストへのアプローチ①②							
授業の到達目標	1. 英語を使って実践的なコミュニケーションが取ることができる。(英語でやりとりする力) 2. 英語で自分自身のことや調べた内容を発表することができる。(英語で発表する力) 3. 様々な場面で、英語で話された内容や書かれた内容を的確に理解することができる。(英語を聞く力・読む力)							
授業内容・進め方	ALTとのコミュニケーション活動で英語プレゼンテーション能力を向上させる。4技能テキストでは、書く・聴く・話す・読む能力を向上させ、定期的にパフォーマンステストを取り入れ、生徒の実践的な英語運用能力を養う。							
観点別評価の方法	【知識・技能】幅広い話題のまとまった英文の内容を聞き取り、正確かつ素早く理解することができるようになる。							
	【思考・判断・表現】話す、聞くなどの活動を積極的に行い、自分自身の考えをしつかりと発信できるようになる。							
	【主体的に学びに向かう態度】他者に自分の考えを英語で発信させ、実践的な英語力を高める指導をしていく。							
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 4 : 4 : 2 を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月		英語4技能型テストへのアプローチ① 1. 2 ディベート基礎 (Show and Tell)					
	5月	考查不実施	英語4技能型テストへのアプローチ① 3. 4 ディベート基礎 (ミニディベート練習) ※中間考查は不実施					
	6月		英語4技能型テストへのアプローチ① 5. 6 ディベート基礎 (ミニディベート練習) ※授業内で1学期末考查を実施					
	7月	考查実施	英語4技能型テストへのアプローチ① 7					
(2学期)	9月		英語4技能型テストへのアプローチ② 1. 2 ディベート演習					
	10月	考查不実施	英語4技能型テストへのアプローチ② 3. 4 ディベート演習 ※中間考查は不実施					
	11月		英語4技能型テストへのアプローチ② 5. 6. 7 プレゼンテーション (卒業探求を英語で発表する)					
	12月	考查実施	※授業内で2学期末考查を実施 プレゼンテーション (卒業探求を英語で発表)					
(3学期)	1月							
	2月							
	3月							

科目名	情報実践	単位数	2単位	学年	3年	コース	進学文系	選択	
教科書									
副教材・参考書	実教出版 令和6年度版 全国商業高等学校主催 ビジネス文書実務模擬問題集(3級) 令和6年度版 全国商業高等学校主催 情報処理検定問題集(3級)								
授業の到達目標	文書がビジネス活動の中で果たしている役割を理解し、文書作成ソフトウェアに関する知識と技術を習得させる。また、ビジネスに関する情報を表計算ソフトウェアを利用しながら管理分析に活用する。								
授業内容・進め方	原則実習とし、Word・Excelのアプリケーションソフトを利用し、問題集を活用して資格取得を目指す。また、プリントも配布するのでA4ファイル(クリアファイル可)を各自で用意すること。								
観点別評価の方法	【知識・技能】 ・実技テストならびに検定試験								
	【思考・判断・表現】 ・実技テストならびに検定試験								
	【主体的に学びに向かう態度】 課題提出・実技成果								
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 5 : 3 : 2 を原則とする								
授業スケジュール									
(1学期)	4月	/	・タイピングソフトを使用したキー入力練習, タッチメソッドの習得						
			・文書作成ソフト”Word”を使用した速度入力練習(速度記入帳データの作成)						
			・表計算ソフト”Excel”の基本機能(体裁, 四則演算, グラフ)						
	5月	/	・関数を利用して有用なビジネス情報を導き出す技法(合計, 平均, 最大, 最小)						
			・関数を利用して有用なビジネス情報を導き出す技法(件数, ソート機能)						
			・関数を利用して有用なビジネス情報を導き出す技法(端数処理, 順位付け)						
	6月	/	・関数を利用して有用なビジネス情報を導き出す技法(複合条件による判定)						
			・関数を利用して有用なビジネス情報を導き出す技法(列参照, 行参照)						
			・関数を利用して有用なビジネス情報を導き出す技法(印刷の工夫)						
	7月	/	・Excel実技課題・各種情報処理検定試験受験						
			・各種実技試験実施						
	(2学期)	9月	/	・文書作成ソフト”Word”を使用した代表的な文書レイアウト					
・文書の構成要素と配置, 編集機能(差し込み印刷, 罫線編集)									
・各種情報処理検定受験									
10月		/	・ビジネス文書実務検定で用いるWord機能(ヘッダー, 校正記号, 書式のクリア)						
			・各種情報処理検定受験(※3級全員)						
			・ビジネス文書実務検定で用いるWordレイアウト(罫線の調整, 均等割り付け)						
11月		/	・ビジネス文書実務検定各級対策(筆記・速度・文書)						
			・各種ビジネス文書実務検定試験受験(※3級全員, 11月第4日曜)						
12月		/	・Word実技課題						
			・各種実技試験実施・各種日本語ワープロ検定試験受験(※3級全員)						
(3学期)		1月	/						
2月	/								
3月	/								

科目名	総合的な探究の時間	単位数	1単位	学年	3年	コース	特別進学	必修	
教科書	敬天愛人への歩み「人」のステージ								
副教材・参考書	課題研究メソッド(よりよい探究活動のために)								
授業の到達目標	「人」のステージ『世の中の役に立つ人材になる』。大学で自分が学びたい学問領域から、自らテーマを設定して「卒業探究」とする。大学進学後も、他校から来た学生をリードしていく姿勢を持ってもらいたい。また、他の生徒の研究・発表を正當に批評できる力をつける。探究テーマで残った疑問を持って次の進路に進んでもらいたい。								
授業内容・進め方	「テーマ設定こそが重要でどこまで掘り下げられるか」過去の生徒の事後アンケートでも明らかになっている部分を開始段階で書籍にヒントを求める。探究テーマ設定は卒業後の進路に関する学問的なものとする。個人探究であり、調べ学習に終わらず、問いを立て、アクションを起こし、そこからまた問いを巡らせるサイクルを確立したい。								
観点別評価の方法	【知識・技能】								
	【思考・判断・表現】								
	【主体的に学びに向かう態度】								
観点別評価の割合	知識・技能：思考・判断・表現：主体的に学びに向かう態度＝：：を原則とする								
授業スケジュール									
(1学期)	4月	/	11	【1】卒業探究①ガイダンス・「読んだ本について発表しよう」準備					
			18	②「読んだ本について発表しよう」発表					
			25	校外学習日					
	5月	/	9	【2】卒業探究①探究テーマの設定・探究計画書作成					
			16	②探究テーマの設定・探究計画書作成					
			23	中間考査週					
	6月	/	30	③中間発表準備					
			6	(キャリア教育セミナー)					
			13	④中間発表					
			20短	⑤中間発表					
	7月	/	27	⑥探究の深化(中間発表と批評を受けて)					
			4	期末考査週					
			11短	⑦大学教員等専門家とのマッチング					
(2学期)	9月	/	5	敬学祭準備日					
			12	⑧夏休みの活動報告と個人面談					
			19	⑨ 〃					
			26	⑩探究サイクルの確認と実施					
	10月	/	3	⑪最終発表準備と個人面談					
			10	⑫ 〃					
			17	中間考査週					
			24	⑬最終発表					
	11月	/	31	⑭ 〃					
			7	⑮ 〃					
			14	⑯ 〃					
			21	⑰ 〃					
	12月	/	28	⑱最終報告書作成・振り返りと今後の展望					
5			卒業考査週						